

2021年 若獅子旗争奪『オレンジボールカップ』実施要綱

1. 目的 低学年時期から試合に出場して野球を楽しみ、ルールを覚え、挨拶や礼儀を学ぶ
2. 大会名称 若獅子旗争奪『第23回オレンジボールカップ』
 - 主催：文京区少年軟式野球連盟
 - 後援：若獅子クラブ、東京新聞、東京中日スポーツ
 - 協力：中央区少年野球連盟、台東区少年軟式野球連盟、世田谷区少年野球連盟
3. 実施日 3月/7日・13日・14日・21日・27日・28日 4月/4日・11日
4. 大会会場 文京区後楽公園少年野球場（文京区後楽1-6-25）
文京区六義公園運動場（文京区本駒込6-16-10）
5. 参加資格
 - ・男女共に2020年1月現在 小学3年生以下の選手で編成された単独チーム
 - ・支部から推薦を受けたチームで、大会日程に対応できるチーム
6. 試合球など
 - ・ナガセケンコーJ号で（本部で用意） 本投間は14M、塁間は21Mで行う
7. 試合方法
 - ・試合時間は、4回戦（準々決勝）まで60分を過ぎたら新しい回に入らず均等回の得点で勝敗を決める（勝ち逃げ禁止ルールは適用しない）準決勝以降は時間制限なしで5回まで行う
 - ・すべて3回以降7点差でコールド成立。日没や雨天の場合は3回で成立
 - ・3回以前に中止の場合（ノーゲーム）及び3回以降タイゲームで中止の場合は再試合（継続試合にする場合あり）
 - ・同点の場合は1回のみタイブレーク方式（無死一・二塁、継続打順）を実施し、決着がつかない場合は抽選。ただし準決勝と決勝は決着がつくまで繰り返す
 - ・試合中は打者、次打者、走者、コーチ（選手）はヘルメット着用のこと。捕手は防具、防護用ヘルメット、スロートガード付きマスク、ファールカップ(原則)を着用のこと
 - ・投手投球数は1日60球以内で、60球に達した場合はその打者が打撃完了するまで投球ができる。また一度退き野手となった場合、再登板はできない
 - ・幼年選手の投げ過ぎによる故障を防止するため、攻撃側が10得点を越えた場合はアウトカウントにかかわらず攻守交代（チェンジ）とする《文京低学年特別ルール》
 - ・ボークとインフィールドフライについては適用しない
 - ・守備側、攻撃側、監督のタイムは3回とする
 - ・後楽少年野球場の外野金網フェンスに直接当たったフェアボールは本塁打とする
 - ・チームのユニホームを着用し、指導者背番号（28～30番）をつけた監督及びコーチにかぎり、攻撃時にコーチャーボックスに入ることを認める
 - ・グラウンドの特別ルールについては別途定める
 - ・シューズの「同色で統一」規定は適用しない（スパイクやシューズ、形や色の制約なし）
 - ・その他は公認野球規則、全軟連特別規則、各会場ローカルルールに準ずる
8. 試合結果
 - ・連盟ホームページに掲載
 - ・週明けの火曜日以降に「東京新聞」と「東京中日スポーツ」に掲載
9. 日程確認 ①雨天時確認（当日朝7時）②日程確認、全て連盟ホームページで（電話問合せ不可）
※両グラウンド共に非常に水はけが良く、早朝に雨が止めば実施します
10. 連盟HP 文京区少年軟式野球連盟 <http://www.bsnbb.jp>